

# アロー 音声合成警報器

[型式] SVK-21A4-B

## 取扱説明書

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用に際してはこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

### 1

#### 安全上のご注意

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を説明しています。

本機のご使用前に以下の「注意事項」をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

#### 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重症を負うことが想定される危害の程度をいう。

- 製品は取扱説明書に記載された範囲内でご使用ください。
- 感電、火災のおそれがあります。**
- 結線するときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- 感電するおそれがあります。**
- 取扱説明書に記載された部品の交換、組み替え及び調整を行なうときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- 感電するおそれがあります。**
- 本機の分解や改造は行なわないでください。
- 感電するおそれがあります。**

#### 【おながい】

- 電圧変動の激しい電源(変動率10%を超える電源)や、ノイズ、サージを多く含む電源(±1000V、1μsを超えるもの)でのご使用は避けてください。
- IC・LSIを使用しているため、電磁波の強い場所での使用は避けてください。
- 信号線は複数並列接続したり、他の機器と並列接続しないでください。
- 配線の余分な引き回しや他の電源線などの併設は避けてください。
- 音声起動信号、音声停止入力、SP出力、LINEOUTの端子には絶対に電圧を印加しないでください。
- 電源のON、OFFはチャタリング的に短時間で行なわないでください。OFF後は少なくとも2秒以上後にONになるようにしてください。
- 供給電源の投入については、電圧が徐々に上昇して定格電圧になるような投入は避けてください。
- 複数台使用される場合、音色を同時にスタートしても再生音は同期しません。

### 2 [外観図及び各部名称]

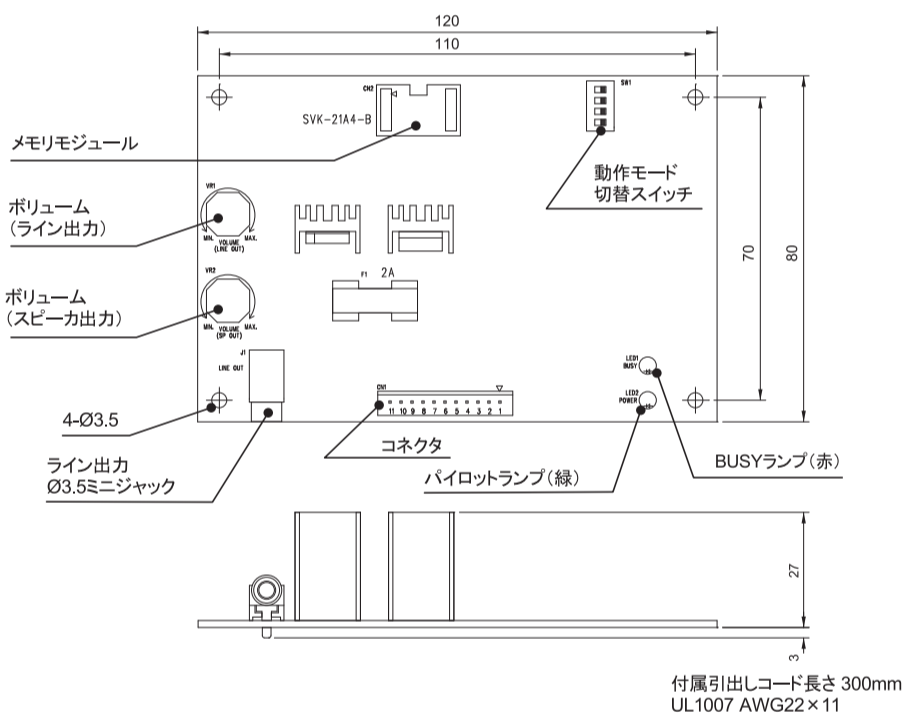


図1 外観図及び各部名称

[単位:mm]

### 3 [取付方法]

- 取付けは振動の少ない十分強度のある面を選んでください。
- [2] 外観図及び各部名称を参照にし、スペーサ等で取付面からプリント基板を5mm以上浮かせた状態で確実に取付けてください。

### 4 [結線方法]

#### 各コネクタ端子の説明

##### ○CN1

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---

図2 コネクタ図

端子番号	線色	名称	端子番号	線色	名称
1	灰	GND	7	緑	CH1
2	紫	SP	8	白	COM
3	空	BUSY	9	黒	0
4	青	CH4	10	橙	12V
5	茶	CH3	11	赤	24V
6	黄	CH2			

※線色は付属のハーネス使用の場合

表1 コネクタ端子配置

##### ○0、12V、24V端子 (電源入力)

本機をDC12Vの電源でご使用の場合、0-12V間、DC24Vの電源でご使用の場合、0-24V間に電源を接続してください。(橙線:⊕、黒線:⊖)

##### ○CH1⇔CH4の端子 (入力)

音声起動信号端子です。この信号とCOM間に無電圧接点回路(スイッチ、リレー接点等)又はNPNオープンコレクタ回路を接続してください。この信号をCOMと短絡することにより対応した音声が発生します。

##### ○SP端子 (出力)

スピーカ出力です。SP-GND間にインピーダンス 8Ω、許容入力2W以上のスピーカを1本接続できます。

##### ○BUSY端子 (オープンコレクタ出力)

音声再生中にONするオープンコレクタ出力です。音声再生中のLED表示信号やシーケンサとのタイミング信号等に使用できます。尚、最大スイッチング容量はDC40V、300mAまでです。

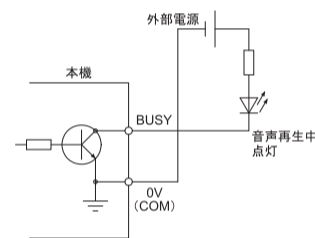


図3 BUSY (オープンコレクタ出力) 接続例

##### ○φ3.5ミニジャック

##### ○LINE OUT端子 (出力)

ライン出力です。市販アンプのAUX、LINE IN等に接続して出力の増量が可能です。

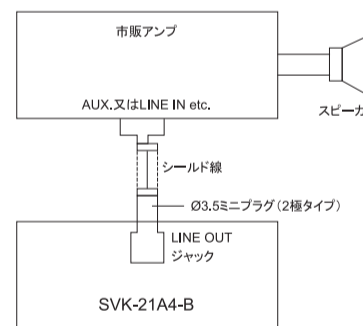


図4 LINE OUT 使用例

#### 結線図

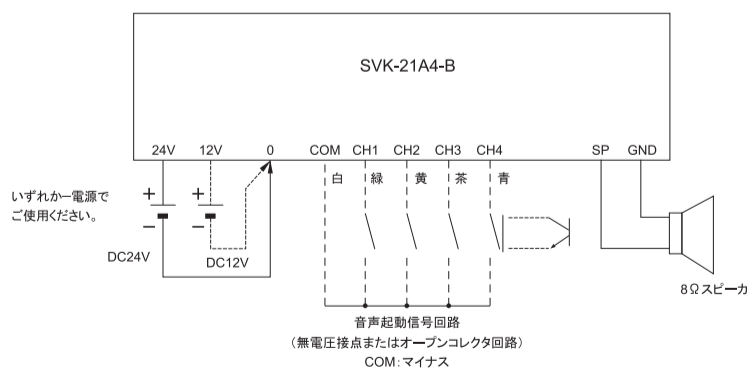


図5 結線例

## 5 [使用方法]

### 動作モード

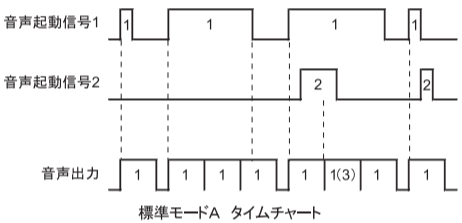
本機には6種類の動作モードが内蔵されており、音声起動信号入力により再生される動作を指定できます。設定は基板上的のディップスイッチにより選択してください。通常動作モードAに設定されます。

動作モード名	動作モード切替スイッチ	概要
A 標準モード		①ワンショット入力 ②連続入力 ③再生途中に入力をOFF ④音声再生中の音声起動入力
B ワンショットモード		①1回のみ再生 ②繰り返し再生 ③再生中のコメントを最後まで再生 ④無視
C 後着優先モード		①1回のみ再生 ②繰り返し再生 ③再生中のコメントを最後まで再生 ④再生中止し、入力チャンネルを再生
D ワンショット後着優先モード		①1回のみ再生 ②1回のみ再生 ③再生中のコメントを最後まで再生 ④再生中止し、入力チャンネルを1回再生
E レベルモード		①ONしている間のみ再生 ②ONしている間のみ再生 ③音声停止 ④無視
F レベル後着優先モード		①ONしている間のみ再生 ②ONしている間のみ再生 ③音声停止 ④再生中止し、入力チャンネルを再生

◎各動作モードの説明 タイムチャートで( )で示す数字はバイナリー入力仕様(特注)での音声出力を示します。

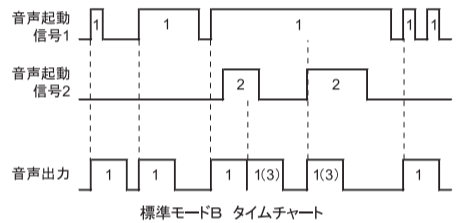
#### 動作モードA(標準モード)

- 音声起動信号がワンショット(50msec以上必要)の場合、コメントを1回のみ再生して停止します。
- 音声起動信号が連続の場合、コメントを繰り返し再生します。
- 同時に複数の音声起動信号が入力された場合、若いチャンネル番号のコメントを再生します。



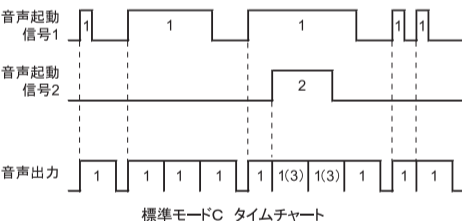
#### 動作モードB(ワンショットモード)

- 音声起動信号がワンショットあるいは連続の場合でも、コメントを1回のみ再生して停止します。
- 再生中に再生コメントと別のチャンネル番号の起動信号が入力された場合、再生中のコメントは無視されます。
- 同時に複数の音声起動信号が入力された場合、若いチャンネル番号のコメントを再生します。



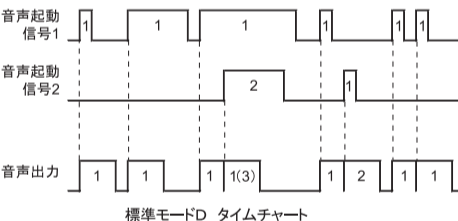
#### 動作モードC(後着優先モード)

- 音声起動信号がワンショットの場合、コメントを1回のみ再生して停止します。
- 音声起動信号が連続の場合、コメントを繰り返し再生します。
- 再生中に再生コメントと別のチャンネル番号の起動信号が入力された場合、再生中のコメントを停止し、後から入力されたコメントを再生します。
- 同時に複数の音声起動信号が入力された場合、若いチャンネル番号のコメントを再生します。



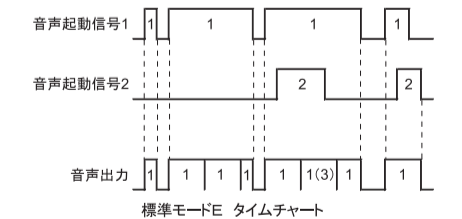
#### 動作モードD(ワンショット後着優先モード)

- 音声起動信号がワンショットあるいは連続の場合でも、コメントを1回のみ再生して停止します。
- 再生中に再生コメントと別のチャンネル番号の起動信号が入力された場合、再生中のコメントを停止し、後から入力されたコメントを1回再生して停止します。
- 同時に複数の音声起動信号が入力された場合、若いチャンネル番号のコメントを再生します。



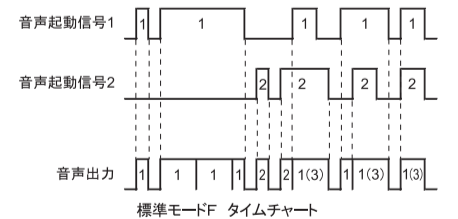
#### 動作モードE(レベルモード)

- 音声起動信号が入力されている間のみコメントを再生します。
- 音声起動信号が連続の場合、コメントを繰り返し再生します。
- 再生中に入力される音声起動信号は無視されます。
- 同時に複数の音声起動信号が入力された場合、若いチャンネル番号のコメントを再生します。



#### 動作モードF(レベル後着優先モード)

- 音声起動信号が入力されている間のみコメントを再生します。
- 音声起動信号が連続の場合、コメントを繰り返し再生します。
- 再生中に再生コメントと別のチャンネル番号の起動信号が入力された場合、再生中のコメントを停止し、後から入力されたコメントを再生します。
- 同時に複数の音声起動信号が入力された場合、若いチャンネル番号のコメントを再生します。



#### ◎バイナリー入力 (特注)

- 音声起動信号を入力すると、その組み合わせにより下表に示すチャンネルのコメントを再生します。但し、各信号間のタイムラグは2msec以下にしてください。
- 音声起動信号の入力に対しては、上記の動作モードに従い動作します。同時入力については、若い番号を優先するのではなく、バイナリー入力を優先します。

再生チャンネル	待機	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
音声起動信号																
CH1		○														
CH2			○													
CH3				○												
CH4					○											

○はONした音声起動信号回路

表2 バイナリー入力時の対比表

### ◎音量の調節

スピーカ出力は基板上的のボリューム(スピーカ出力)にて、またライン出力はボリューム(ライン出力)にて調節できます。(右回りで増大、左回りで減少)尚、出荷時はスピーカ出力は最大に、ライン出力は0dBに設定してあります。

## 6 [メモリモジュールの交換方法]

現在ご使用されている音声内容を変更する場合、基板上にセットされている記憶媒体のメモリモジュールを取り外し、新たに弊社にご注文されたメモリモジュールと以下の手順に従って交換してください。

▽2項の外観図を参照に基板上にあるメモリモジュール(ソケット式)を引き抜きます。  
▽交換するメモリモジュールを方向に注意して挿入します。

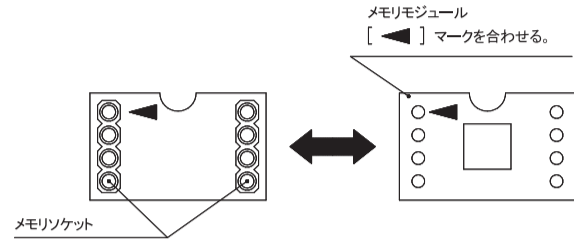


図6 メモリモジュール

## 7 [定格]

型式	SVK-21A4-B
電源電圧	DC12V/24V
定格消費電力	3.5W/8W
定格出力	2W
定格時間	連続
出カインピーダンス	8Ω
ライン出力レベル	600Ω 0dB (調整ボリューム付)
BUSY信号	NPN オープンコレクタ出力 DC40V 300mA (抵抗負荷) MAX
使用温度範囲	-10℃~50℃
保存温度範囲	-40℃~80℃
使用湿度範囲	35%~85%RH (但し結露なきこと)
使用雰囲気	腐食性ガスのないこと
製品質量	80g

### ●音声合成部

音声合成方式	ADPCM2方式
ビットレート	標準64kbit/s
音声記録時間	合計最大128秒
動作モード	A. 標準モード B. ワンショットモード C. 後着優先モード D. ワンショット後着優先モード E. レベルモード F. 後着レベルモード
音声制御数	ビット入力時 4種類 バイナリー入力時 15種類4ビット
入力信号回路	無電圧接点又はNPNオープンコレクタ COM: マイナス、Vce ≥ 24V、Ic ≥ 10mA以上のもの必要
入力信号パルス幅	50ms以上

## シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社

お問い合わせ

本製品でお困りのこと、ご質問など、いつでも解決のお手伝いをさせていただきます。弊社サポートサイトへアクセスしてください。

<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>

PHA23557\_00



Schneider Electric